

教育科目	保育の基本用語		教育内容	文章表現			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. レポート作成に必要な技術を学び、基礎訓練を行う。具体的なテーマに取り組みながら、自分の考えをまとめ、相手にしっかりと内容が伝わる文章を書けるようにする。 2. 正しい表記や漢字について学ぶ。						
授業概要	文章を読み、理解し、内容に関して自己の考えや感情を表現することができるよう、さまざまな文章に触れ、それに対して表現する力を養う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期 1 回・後期 1 回		前期 1 回・後期 1 回			
	評価方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『これだけは知っておきたい 保育の基本用語』（わかば社）						

教育科目	こどもの指導法「言語表現」		教育内容	保育内容の理解と方法			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	こどもの言葉の大切さを知り、言葉の発達を促すために保育者がどのような関わりが必要かについて、具体的に学習する。						
授業概要	保育の現場において役に立つ技術を身につけることと、子どもたちが文化によって自らが文化を創り出す活動や表現ができるようにすることも視野に入れた授業を行う。						
成績評価 方法	定期テスト (前期) 後期			その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	1 回・後期	回	前期	1 回・後期	回
	評定方法 定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果を加味する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『ことばを育む・保育に活かす言語表現』(みらい) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(フレーベル館) 『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館) 『保育所保育指針・解説書』(フレーベル館)						

教育科目	乳幼児保育Ⅱ		教育内容	乳児保育Ⅱ			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 乳幼児保育の意義・概念と歴史的変遷及び背景と制度について理解する。 2. 保育所、家庭的保育等多様な保育の場における、乳児保育の現状と課題について理解する。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 4. 乳幼児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。						
授業概要	乳幼児保育の歩みと現状、乳幼児の発達上の特徴など、基本的な知識について学び、その意義や必要性を理解できるようにする。人としての基礎を培う大切な乳幼児期に関わる保育者の役割を理解し、適切な保育の計画や方法、保護者への支援の習得を目指す。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期 1 回	前期	回・後期	回	
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『演習で学ぶ乳児保育』（わかば社） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館）『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	こどもの健康と安全		教育内容	こどもの健康と安全			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. こどもの疾病の種類やその予防及び適切な対応について理解する。 2. こどもの体調不良時や救急時の対応、事故防止や安全管理についての具体的な計画立案ができる。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の発達上の特徴と健康観察点について知る。 ・日常的に見られるこどもの疾病への対処及び予防方法について学習する。 ・事故防止と安全対策について具体策を立案する。 						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回 後期 1回	前期	回・後期	1回	
	評価方法 定期試験のほか、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	「こどもの健康と安全 演習ノート（第2版）」診断と治療社 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	障害児保育		教育内容	障害児保育		演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. 障害児保育の基本姿勢を学ぶ。 2. 障害について理解する。 3. 障害児への対応方法を学ぶ。 4. 障害のある子どもへも家族への支援を学ぶ。					
授業概要	1. 障害児に対する基本姿勢。 2. 関連の法律について学ぶ。 3. 障害について学ぶ。 4. 自閉症児への支援について学ぶ。 5. 児童福祉施設での支援について学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期 1 回
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と担 当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	『障害児保育ワークブック インクルーシブ保育・教育をめざして』（萌文書林）					

教育科目	社会的養護Ⅱ		教育内容	社会的養護Ⅱ			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 児童福祉施設における社会的養護の意義を理解する。 2. 子どもの心を理解する。 3. 児童福祉施設で生活している養護を必要としている子どもへの基本的な援助・支援内容と方法を習得し、専門性を高める。						
授業概要	社会的養護における児童の権利擁護、保育士の倫理、施設養護及び他の社会的養護の実践について学ぶとともに、個々に応じた支援計画の作成方法と評価、改善の手法について学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト 前期 1 回・後期 回			前期 1 回・後期 回			
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『図解で学ぶ保育 社会的養護Ⅱ』（萌文書林）						

教育科目	子育て支援		教育内容	子育て支援			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	親子とのかかわりを中心とした支援の実践力とともに、具体的にどのような準備を行うかなどの計画力も養う。保護者や家庭の子育てに対する支援的かかわりを学ぶ。						
授業概要	各施設における家庭や保護者への支援はもちろん、保育士個人として行う子育て支援やそこに付随する第3者との連携およびPDCAサイクルの実践、支援ニーズの吸い上げに必要な基礎的な考え方や技術など、実践事例を通して具体的に学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期 1 回	前期	回・後期 1 回		
	評価方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『新・基本保育シリーズ 19 子育て支援』（中央法規出版） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	保育・教職実践演習		教育内容	保育・教職実践演習			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	学習と教育実習等で得られた指導力や実践とのさらなる統合を図り、使命感や責任感に裏付けされた確かな実践的指導力を身に付ける。幼稚園における実践を中心としているが、幼稚園と小学校のつなぎ、保育所と幼稚園の連携等を十分に意識し、教育現場・保育現場で直面する問題に対して対応力を学ぶ。						
授業概要	保育士および教師生活を円滑にスタートできるよう学校現場の視点に立った考え方についてロールプレイング、ブレインストーミングなどを通して学ぶ。具体的には、職務内容、倫理観、他者・他機関等との連携、事例を用いた対応策などである。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1回	前期	回・後期	1回
評価方法	定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果を加味する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館）『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	特別支援教育		教育内容	特別支援教育			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	(前期) 後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	従来の特殊教育の対象だけでなく、いわゆる発達障害なども含めて特別な支援を必要とする子どもたちの生活や学習等における困難を理解し、個別のニーズに対して適切な対応をとるために必要な知識や支援方法について学ぶ。						
授業概要	特別な支援を必要とされる障害の種類と特徴について学び、個々の障害に合った適切な支援の方法について知る。また、保護者や家庭との連携の在り方について考えるとともに、現代的な教育的ニーズについて明らかにする。						
成績評価 方法	定期テスト (前期) 後期			その他 (レポートなど)			
	小テスト 前期 1回・後期 回			前期 1回・後期 回			
	評定方法 定期試験にて判定 小テスト・レポートのなどの結果も加味する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 (フレーベル館) 『幼稚園教育要領解説』 (フレーベル館) 『保育所保育指針・解説書』 (フレーベル館)						

教育科目	こどもの理解と相談支援		教育内容	こどもの理解と相談支援			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期 後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	「幼稚園や小学校における相談支援とは何か」について知り、幼児児童指導および学級経営上の有効性などを、理論や技法などの体験を通して理解する。						
授業概要	子ども理解の原理と方法や来談者中心カウンセリング、行動カウンセリング、グループカウンセリング等の理論、技術について知る。その際、講義のみではなくロールプレイを含めて、一人一人が体得するよう進めていく。						
成績評価 方法	定期テスト		前期 後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期 1回・後期 回		
	評定方法 定期試験のほか、小テスト、レポート課題、受講態度などを加味して総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	こどもと環境		教育内容	環境論			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 子どもの成長発達と「環境」との関係を理解する。 2. 環境を通して行う保育の意味を理解する。 3. 子どもを取り巻く様々な種類の環境について理解する。 4. 子どもと様々な環境の出会い（相互作用）を理解する。 5. 保育環境の構成ができる。						
授業概要	まず、広く「環境」とは何かについて考え、子どもの生活環境の全体像を捉える。次に、保育内容の一領域としての「環境」のねらいと内容を確認する。続いて子どもを取り巻く諸環境について具体的に学び、その多様さと子どもとの関係性を知る。最後に、保育者としての保育環境デザイン力について学ぶ。 ※「豊岡短期大学通信教育部作成テキスト」に沿って進める						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期	1回・後期	回
評定方法	評定方法 定期試験にて判定。小テストやレポートの結果、あるいは普段の受講態度なども加味する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	ビジネススキル I		教育内容	ビジネススキル I			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	就職を目前に控え、ビジネスマナーを習得し、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級合格を目指す。						
授業概要	職業人として必要不可欠なビジネスに関する知識技能および経済、情報機器に関する知識を深める。また、ビジネス能力検定 3 級の取得を目指す。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期 1 回	後期 回	前期	回	後期	回
	評価方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『ビジネス能力検定ジョブパス 3 級公式テキスト：B 検. 2023 年版』(日本能率協会) 『ビジネス能力検定ジョブパス 3 級公式試験問題集：ビジネス能力検定 B 検 J o b p a s s . 2023 年版』(日本能率協会)						

教育科目	こどもと読み聞かせ		教育内容	こどもと文学			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代にいたるまでの児童文学の流れを学び、児童文学の魅力を探る ・現代社会に生きるこどもたちに目をむけながら児童文化についての知識を深める 						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・児童文学の歴史をふまえて、お互いの経験を振り返り楽しく学習する中で、いろいろな児童文学にふれ知識を広げながら、幼いこどもたちのためによりよい接し方を身につける ・優れた作品に多く触れることに加え、現場で活用できる文字遊びを身につける 						
成績評価 方法	定期テスト			前期	後期	その他（レポートなど）	
	小テスト			前期 1 回	後期 回	前期 回・後期 回	
	評価方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『子どもと文学』増補新版（中公文庫）						

教育科目	保育実習指導Ⅱ		教育内容	保育実習指導Ⅱ			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位数	1 単位
授業目標	保育現場での実践体験を通して、保育者の働きを学び、保育士を目指す者としての自身の課題に向き合う。						
授業概要	保育実習Ⅰで修得した知識や理解したこと、また座学で学んだことをもとに子育て支援や指導計画に関する知識を深め、子どもの活動を観察しながら心身の状態を把握するなどの指導技術をさらに高める。また、保育観の確立に向けた課題の探究を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 1 回・後期 1 回		
	評価方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『保育者の資質・能力を育む保育所・施設・幼稚園実習指導』（福村出版） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	保育実習Ⅱ（実習）		教育内容	保育実習Ⅱ			実習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	保育実習Ⅰで習得した知識や理解したこと、また学校で学んだことをもとに保育士としての知識や指導技術をさらに深めるとともに保育観の確立を目指す。						
授業概要	保育実習Ⅰで修得した知識や理解したこと、また座学で学んだことをもとに子育て支援や指導計画に関する知識を深めるための準備を行い、子どもの活動を観察しながら心身の状態を把握するなどの指導技術をさらに高める。また、保育観の確立に向けた課題の探究を行うための学習を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評価方法 各実習先の評価・取り組みの評価と実習日誌により判定。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等							

教育科目	憲法		教育内容	憲法			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	8 コマ	単位数	1 単位
授業目標	<p>私たち誰もが幸せに生きていきたいと考えていますが、そのための最も大切な法律が憲法です。私たちが幸せに生きていくために、憲法は、私たちにどのような権利を認めているのでしょうか？ また、その権利をどのような考え方と国の仕組みによって実現しているのでしょうか？ この授業ではこれらのことを学びます。そしてそのことを通して、憲法が私たちの生活に具体的にどのように関わっていて、どれだけ大切な法律であるのかを理解することを授業の目標とします。</p>						
授業概要	<p>心と体を持った生身の人間である私たちが平和のうちに幸せを求めて生きていく権利を憲法は私たちに平等に保障しています。その権利のことを人権といいます。憲法によって守られ保障されている私たちの人権の内容と、人権が守られ保障されている国の仕組みなどについて、スライドを用いて具体的なケースを取り上げながら、分かりやすく学び合っていきます。</p>						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	後期	前期 1 回・後期 回			
	<p>評定方法 レポート及び定期試験の結果に出席状況等を加味して成績評価します。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』を評定基準とします。						
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト及び担当教員作成の授業レジュメ、参考資料等を用いて授業を行います。						

教育科目	保育日誌指導		教育内容	日誌指導Ⅱ			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	部分実習、責任実習に必要な指導案を立案し、指導計画などについて教材研究を行い、保育における自己課題を明確にする。						
授業概要	保育所における養護および教育において、長期的・短期的な計画を立てるにあたり、計画と実施、評価、改善への流れを助ける日誌の書き方について、目的、書き方、活用手法など応用的な内容を取り扱う。						
成績評価 方法	定期テスト		前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト		前期 1 回・後期 1 回		前期 1 回・後期 1 回		
	評価方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する		専門知識や資格等を有する				
使用テキスト等	『実習の記録と指導案：改定新版』（ひかりのくに）						

教育科目	こども園実践演習Ⅱ		教育内容	附属認定こども園実践演習Ⅱ		演習	
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	40 コマ	単位数	2 単位
授業目標	保育及び教育の各場面を同建物内にある坪内学園附属認定こども園で実際に体験する。講義で学習した内容の実践演習として位置付けることで、課題探求及び解決力を養うとともに、就職時に即戦力となれることを目的とする。						
授業概要	現場で、朝の集い実習、給食実習のほか、観察実習、赤ちゃん実習を行う。それぞれの実習について、事前指導・事後指導を行うことにより、課題を明確にして、各自が主体的に、園の活動を体験的に学習していく。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1 回・後期	1 回
	評定方法 授業の取り組み姿勢、授業での実践内容						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する		専門知識や資格等を有する				
使用 テキスト等	適宜、資料配布						

教育科目	保育・教育実習事後指導		教育内容	保育・教育実習事前事後指導			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	10 コマ	単位数	1 単位
授業目標	保育・教育現場での実践体験を通して、保育者の働きを学び、保育者を目指す者としての自身の課題に向き合う。						
授業概要	実習等で修得した知識や理解したこと、また座学で学んだことをもとに子育て支援や指導計画に関する知識を深め、子どもの心身の状態を把握するなどの指導技術をさらに高める。また、保育観の確立に向けた課題の探究を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評価方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	保育者のマナーと言葉		教育内容	保育職基礎演習Ⅱ			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	22 コマ	単位数	1 単位
授業目標	<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>子どもの豊かな感性と表現する力を育てるために、保育者としての支援を考える。また、保育の計画と評価について十分理解し指導計画の立案ができることを目指す。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの発達と音楽・造形・劇的表現の理解と考察ができる。 2. 保育者として子どもの表現活動の援助・指導ができる。 3. 指導計画を立案する。 						
授業概要	<p>子どもの表現活動について発達過程に即して理解する。表現の意義・内容・方法などについて考察し、教材研究する。そして、指導計画の立案につなげる。</p>						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期 1回・後期 回		
	<p>評定方法：グループワーク、受講状況などで総合的に評価する。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	配布資料等						

教育科目	キャリア演習Ⅱ		教育内容	キャリア演習Ⅱ			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 就職活動を円滑に行う力を養う。 2. マナーの大切さを理解し、社会人としての基本的マナーを身に付ける。 3. 職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培う。 4. 社会の中での自己の在り方生き方について認識させ、働くことの意識付けや豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を養う。						
授業概要	社会人講話や就職活動を通して、社会人に必要な基礎知識や仕事に対する取り組み姿勢について学ぶ。学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する。 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリント等						

教育科目	エクセル		教育内容	エクセル			演習	
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	8 コマ	単位数	1 単位	
授業目標	1. 基本的なパソコン機能を実務で使いこなせる能力を習得する。 2. Excel の基本操作を理解し、意図した内容の表やグラフを作成できる。							
授業概要	基本的なパソコン操作を学ぶ。 Excel の基本操作を理解し、意図した内容の表やグラフを作成する。							
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）				
	小テスト	前期	回・後期	回	前期			回・後期 1回
	評価方法 定期試験及び平常点にて判定							
評価基準	『坪内学園教務規程』による							
教科科目と担 当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する							
使用 テキスト等	自主作成教材等							

教育科目	こども家庭支援論		教育内容	こども家庭支援論			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 子育てをめぐる親・家族・社会の変化を理解する。 2. 子育て支援の必要性を理解し、子育て支援策について学ぶ。 3. 園や地域における子育て支援の実際を学ぶ。 4. 地域における子育て支援ネットワークづくりの必要性と課題を理解する。						
授業概要	現代の家族を取り巻く社会的状況の特質と子育て家庭の抱える困難、並びにこれまでの子育て支援政策の思想と現実を吟味し、どのような子育て支援が必要とされているかを明らかにする。次に、子育て支援の実際を理解し、今日求められている幼稚園・保育所における子育て支援の機能と保育者の役割についての認識を深めることを目指す。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期	1 回
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『保育者だからできるソーシャルワーク 子どもと家族に寄り添うための 22 のアプローチ』（中央法規出版）						

教育科目	福祉・社会Ⅱ		教育内容	地域研究Ⅱ・企画マネジメントⅡ・総合体育Ⅱ・式典出席		演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数 2 単位
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。 ・日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かす。 ・総合体育を通じ、チームワークの大切さを知る。 					
授業概要	地域研究・企画マネジメントⅡ・総合体育Ⅱ・式典出席					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 回・後期 回	
	評定方法 レポート等及び活動の取り組み評価により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等						

教育科目	こども理解の理論と方法		教育内容	子どもの理解と援助			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	保育者には、子どもを正しく理解したうえでの援助が求められる。この授業では、子ども理解を深めるための様々な視点や方法を知るとともに、それを踏まえた上での援助の考え方や方法について学ぶ。						
授業概要	発達の段階を見通した幼児期の子どもの姿を踏まえて、子どもの特性を考慮した援助のあり方を概説する。また、幼児教育における学級集団づくりや特別な配慮を必要とする子ども理解の方法なども学ぶ。さらに、保育観察記録を通した子ども理解の実際について知る。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期 1回	前期 回・後期 1回			
	評定方法 定期試験のほか、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『子ども理解の理論及び方法』（萌文書林） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	こどもの保健		教育内容	こどもの保健			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. こどもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境が理解できる。 2. こどもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解できる。 3. 現代社会における心の健康問題や地域保健活動等について理解できる。						
授業概要	・こどもの成長過程を安全に、健康的に手助けするにあたり、こどもに多い病気を理解し、こどもへの接し方について総合的に学習する。 ・こどもの置かれている制度や環境を理解し、保護者支援についても学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	3回・後期	2回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト						

教育科目	こどもの指導法「健康」		教育内容	保育内容演習			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	乳幼児期は、生涯を見据え健康な心身の基礎を作る重要な時期である。子どもの健康を守り育てるためには、実際の保育現場で子どもの発育発達をいかに捉え、いかなる内容についていかに指導し支援することが効果的かを理解する必要がある。本授業では、子どもの個々の健康状態を評価する能力を多領域から養うことを目的とする。						
授業概要	乳幼児期の健康に関する幅広い知識と個々の発育発達の状態に合った配慮の仕方、子どもが健康でたくましく育つための具体的な方法について、現代社会の子どもを取り巻く生活環境にも目を向けながら子どもの積極的な健康づくり指導を目指す。						
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト	前期 1 回	後期 回	前期 回	後期 回		
	評定方法 授業の取り組み姿勢、授業での実践内容、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『保育内容・領域健康指導法（実践例から学びを深める）』（わかば社） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	こどもの指導法「環境」		教育内容	保育内容演習			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	保育内容「環境」のねらい及び内容について理解を深めるとともに、乳幼児の発達段階ごとに具体的な指導場面を想定して、保育を構想する方法を身に付ける。						
授業概要	子どもは、様々な環境の中で生活をしている。それは家庭・地域社会・保育所・幼稚園・認定こども園などであり、このようなさまざまな「物的環境」「人的環境」「自然環境」「社会環境」の持つ意味について学ぶ。本科目では、子どもにとって環境とは何かを理解しそれにどう関わるかを中心に、保育現場における具体的な事例も含めて保育に必要な環境構成の方法について学習していく。						
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト 前期 1 回・後期		回	前期 1 回・後期 回			
	評定方法 定期テストのほか、小テスト・レポートや授業の取り組み姿勢なども含めて評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『保育内容：環境（第3版）』建帛社、 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	こどもの指導法「ピアノ・合奏指導法」		教育内容	保育内容の理解と方法			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	領域「表現」の「音楽表現」に視点を置き、領域「表現」の全体目標への到達を目指し、より具体的、実践的、対話的な保育実践の方法を習得する。						
授業概要	領域「表現」は、幼児期の終わりまでに育ってほしい「豊かな感性と表現」を育む重要な領域である。領域「表現」の目標を理解するとともに、音楽を通した様々な表現活動の在り方や実践の方法を具体的に理解する。また、小学校における教科「音楽」とのつながりについても理解する。						
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト 前期 回・後期 1回			前期 回・後期 1回			
	評定方法 授業の取り組み姿勢、授業での実践内容、定期テスト（実技）						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育』（教育芸術社） 適宜、資料配布						

教育科目	こどもの食と栄養		教育内容	こどもの食と栄養			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	ヒトが人間らしく生きていくために何をどのように食べるべきなのかという基本を理解する。その上で、それを暮らしの中にどのように具体的な形で、こどもたちに伝えていくのかということしっかりと理解し考え、身に付けることができるようになる。						
授業概要	1. レポート課題・単位認定試験出題課題を中心に、テキスト・参考図書だけではなくより広い視点からこどもの食と栄養について深く理解する。 2. スクーリングを通して学習成果に対する学習の理解を深め、実践力をつける。 3. 普段からあらゆる視点でこどもの食と栄養について興味関心を持ち、質問用紙等を活用して向上心を持って高い資質を身につける。						
成績評価 方法	定期テスト (前期) 後期			その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト						